



平成25年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月10日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社ト一セ

コード番号 4728 URL <http://www.tose.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート部門統括

(氏名) 渡辺 康人

TEL 075-342-2525

四半期報告書提出予定日 平成25年1月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第1四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第1四半期	1,070	24.3	△6	—	24	△69.0	△3	—
24年8月期第1四半期	861	△38.9	69	322.4	77	295.3	31	268.2

(注) 包括利益 25年8月期第1四半期 24百万円 (37.3%) 24年8月期第1四半期 17百万円 (47.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第1四半期	△0.46	—
24年8月期第1四半期	4.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第1四半期	7,061	5,113	72.2
24年8月期	6,850	5,180	75.4

(参考) 自己資本 25年8月期第1四半期 5,095百万円 24年8月期 5,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	12.50	—	12.50	25.00
25年8月期	—	—	—	—	—
25年8月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,441	△11.9	51	△81.2	55	△82.1	23	△84.7	3.13
通期	5,246	0.1	301	△33.3	318	△34.3	180	△42.7	24.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年8月期1Q	7,763,040 株	24年8月期	7,763,040 株
25年8月期1Q	360,065 株	24年8月期	360,065 株
25年8月期1Q	7,402,975 株	24年8月期1Q	7,403,235 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の家庭用ゲーム業界におきましては、大型タイトルの発売や「ニンテンドー3DS LL」の投入により、「ニンテンドー3DS」の国内累計販売台数が800万台を突破し、本年1月には1,000万台を突破する(株式会社エンターブレイン調べ)等、好調に推移しました。また、昨年12月に新型ゲーム機「Wii U」が発売され、今後ゲームソフト会社から新型ゲーム機を牽引することができるタイトルが数多く発売されることにより、ハード・ソフトともに市場の活性化が期待されます。

モバイル業界におきましては、平成23年のモバイルコンテンツ市場の市場規模が前年比14%増の7,345億円、iPhone及びAndroid OS搭載端末に代表されるスマートフォン上でのモバイルコンテンツ市場が前年比555%増の806億円となっており(一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調べ)、引き続き拡大傾向にある中、スマートフォンの利用者が急増しております。本年におけるスマートフォンの出荷台数予測は3,510万台、携帯電話端末の総出荷台数の80.3%をスマートフォンが占めると予想されております(株式会社MM総研調べ)。一方で、成長著しいソーシャルゲーム市場においては、ゲームソフト会社が相次いで参入し、有力コンテンツが続々と提供されております。また、大手ソーシャルゲームプラットフォーム事業者が積極的に海外展開を進めており、国内外のソーシャルゲーム市場の一層の拡大が期待されております。

このような状況のもと、当社グループは多様化するゲームプレイ環境への対応力強化や事業拡大を目指して機構改革を実施し、開発体制の強化に努めてまいりました。しかしながら、Wii Uの発売に合わせて投入されるタイトルやクリスマス商戦向けに投入されるタイトルの開発業務が予想以上に難航し、一部に不採算タイトルが発生したことから、利益面に影響が及びました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10億70百万円(前年同四半期比24.3%増)、営業損失は6百万円(前年同四半期は営業利益69百万円)となりました。経常利益は、為替差益等の発生により、24百万円(前年同四半期比69.0%減)となりましたが、投資有価証券評価損等の発生により、四半期純損失は3百万円(前年同四半期は四半期純利益31百万円)となりました。

なお、開発完了タイトル数は、家庭用ゲーム機向け3タイトル、携帯端末向け9タイトルの合計12タイトルとなりました。

セグメントの業績は次の通りであります。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

①ゲームソフト開発事業

ゲームソフト開発事業におきましては、開発業務が予想以上に難航し、開発完了の時期が遅延したタイトルが一部発生したものの、その他のタイトルに関しては、計画どおり開発業務を完了することができたことから、開発売上は6億65百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、海外向けタイトルや前期に開発完了したニンテンドー3DS向けタイトルが順調に推移した結果、11百万円となりました。

この結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は6億77百万円(前年同四半期比22.2%増)となりました。しかしながら、上記のとおり一部に不採算タイトルが発生したことから、営業損失は18百万円(前年同四半期は営業利益52百万円)となりました。

②モバイル開発事業

モバイル開発事業におきましては、顧客による開発スケジュールの変更に伴って開発完了の時期が第2四半期となったタイトルが一部発生したものの、ほぼ計画どおりに進んだことから、開発売上は2億23百万円となりました。

運営売上につきましては、運營業務を終了したタイトルが発生したものの、その他のタイトルに関しては、ほぼ計画どおりに運營業務を実行できたことから、82百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、従来の携帯電話向けコンテンツのロイヤリティ売上に減少傾向が見られたものの、スマートフォン向けコンテンツのロイヤリティ売上が好調に推移した結果、34百万円となりました。

この結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は3億40百万円(前年同四半期比33.6%増)、営業利益29百万円(前年同四半期比7.0%減)となりました。

③その他事業

その他事業におきましては、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズにて、「ニンテンドーゾーン※」などの事業を中心に行っております。開発売上につきましては、ニンテンドーゾーン事業を中心に受注が低調であったことから、28百万円となりました。

運営売上につきましては、ニンテンドーゾーン事業における開発業務の低調が影響した結果、6百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、Wii向け家庭用カラオケ楽曲配信事業を中心として、16百万円となりました。

この結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は52百万円(前年同四半期比0.6%増)、営業損失17百万円(前年同四半期は営業損失14百万円)となりました。

※ニンテンドーゾーン… 特定の店舗や商用施設で、その場所特有のゲーム、音楽、画像、営業情報、販促物等の独自コンテンツをニンテンドー3DSやニンテンドーDSにダウンロードできるサービス。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して2億10百万円増加し、70億61百万円となりました。資産の部におきましては、主に現金及び預金、仕掛品が増加した一方で、売掛金が減少したことにより流動資産が2億7百万円増加しております。また、有形固定資産の償却等による減少があったものの投資有価証券が増加したことにより、固定資産が2百万円増加しております。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して2億77百万円増加し、19億47百万円となりました。これは主に、買掛金及び前受金が増加した一方で、未払法人税等が減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して67百万円減少し、51億13百万円となりました。これは主に、配当金支払による利益剰余金の減少とその他有価証券評価差額金の変動によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間は、ゲームソフト開発事業において一部のタイトルで開発業務が難航し、予想以上に開発原価を要したことから、営業損失となりましたが、ゲームソフト開発事業において受注状況が堅調で、且つ、第2四半期以降は当初計画通りに開発業務が完了するものと見込んでいることから、平成25年8月期の連結業績予想につきましては、平成24年10月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,140,128	2,306,162
売掛金	411,327	247,053
有価証券	177,343	187,347
仕掛品	1,054,092	1,183,656
繰延税金資産	86,856	131,140
その他	35,205	57,571
流動資産合計	3,904,952	4,112,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,200,665	1,203,466
減価償却累計額	△493,093	△504,127
建物及び構築物(純額)	707,571	699,338
工具、器具及び備品	309,414	307,113
減価償却累計額	△276,818	△275,409
工具、器具及び備品(純額)	32,596	31,703
土地	709,565	709,565
その他	81,826	81,826
減価償却累計額	△80,484	△80,712
その他(純額)	1,342	1,113
有形固定資産合計	1,451,075	1,441,721
無形固定資産		
ソフトウェア	64,006	56,314
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	66,142	58,449
投資その他の資産		
投資有価証券	572,275	604,071
繰延税金資産	37,431	30,946
投資不動産	347,682	347,682
減価償却累計額	△38,316	△39,366
投資不動産(純額)	309,366	308,316
その他	533,133	528,818
貸倒引当金	△24,000	△24,000
投資その他の資産合計	1,428,206	1,448,153
固定資産合計	2,945,423	2,948,324
資産合計	6,850,375	7,061,256

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	69,189	83,775
短期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	108,839	68,361
前受金	716,297	883,599
賞与引当金	196,003	56,875
役員賞与引当金	—	4,000
その他	307,187	576,124
流動負債合計	1,417,518	1,692,736
固定負債		
役員退職慰労引当金	213,082	215,857
その他	38,954	38,954
固定負債合計	252,037	254,812
負債合計	1,669,555	1,947,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,184	1,313,184
利益剰余金	3,343,582	3,247,606
自己株式	△340,215	△340,215
株主資本合計	5,283,551	5,187,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△87,608	△56,415
為替換算調整勘定	△31,685	△35,973
その他の包括利益累計額合計	△119,293	△92,388
新株予約権	7,056	8,462
少数株主持分	9,506	10,057
純資産合計	5,180,820	5,113,706
負債純資産合計	6,850,375	7,061,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)
売上高	861,892	1,070,928
売上原価	612,012	893,110
売上総利益	249,879	177,817
販売費及び一般管理費	180,779	184,418
営業利益又は営業損失(△)	69,099	△6,600
営業外収益		
受取利息	3,401	2,177
受取配当金	568	3,541
不動産賃貸料	11,800	12,492
為替差益	2,140	14,481
雑収入	4,685	11,193
営業外収益合計	22,596	43,887
営業外費用		
支払利息	103	84
持分法による投資損失	6,591	5,584
不動産賃貸費用	7,028	7,432
雑損失	27	41
営業外費用合計	13,750	13,142
経常利益	77,945	24,144
特別利益		
持分変動利益	—	1,398
特別利益合計	—	1,398
特別損失		
固定資産売却損	—	397
固定資産除却損	1,070	—
投資有価証券償還損	—	1,009
投資有価証券評価損	—	16,205
特別損失合計	1,070	17,612
税金等調整前四半期純利益	76,875	7,929
法人税、住民税及び事業税	49,064	66,067
法人税等調整額	△3,312	△55,249
法人税等合計	45,752	10,817
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	31,122	△2,888
少数株主利益	—	550
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,122	△3,438

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	31,122	△2,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,976	31,193
為替換算調整勘定	△9,074	△3,488
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,578	△799
その他の包括利益合計	△13,629	26,904
四半期包括利益	17,493	24,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,493	23,466
少数株主に係る四半期包括利益	—	550

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	ゲームソフト 開発事業	モバイル 開発事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	554,474	255,133	52,284	861,892	—	861,892
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,155	10,510	1,576	26,241	△26,241	—
計	568,629	265,643	53,861	888,133	△26,241	861,892
セグメント利益又は損失(△)	52,111	31,660	△14,671	69,099	—	69,099

(注)1 売上高の調整額△26,241千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	ゲームソフト 開発事業	モバイル 開発事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	677,431	340,917	52,579	1,070,928	—	1,070,928
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,948	33,618	1	37,568	△37,568	—
計	681,379	374,536	52,581	1,108,496	△37,568	1,070,928
セグメント利益又は損失(△)	△18,340	29,456	△17,715	△6,600	—	△6,600

(注)1 売上高の調整額△37,568千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。